

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果と対策 由布院小学校 6年

※全国平均、県平均との比較を◎(高い)○(標準)△(課題)で表しています。

全国比 県比

国 語	教科全体正答率		○	△
	領域別正答率	言葉の特徴や使い方	△	△
		我が国の言語文化	◎	○
		話すこと・聞くこと	○	○
		書くこと	◎	◎
		読むこと	△	△

【国語科の分析結果と改善のポイント】

- ・話し合い活動において、「賛成」「反対」の立場を持ち、「妥当性のある理由」を論理的に説明し合う場等、国語だけでなく、学級会活動等生活の場で活用していく授業が必要。
- ・物語文の読み取りにおいて、叙述をもとにした話し合いの授業を組む。補充学習でも、問題を解いていく。
- ・「ふりかえり」と「交流活動」で見つけ、説明する力はついているが、「問題点」を見つける力、解決案を説明する力を養えるように、教科を横断した取り組みが必要。
- ・友達の意見に対して、ポイントを絞りコメントをするような経験を増やす。「問題点」について、解決するような場面を増やす。

算 数	教科全体正答率		△	△
	領域別正答率	数と計算	○	○
		図形	△	△
		変化と関係	△	△
データの活用		△	△	

【算数科の分析結果と改善のポイント】

- ・数量感覚を身につけるために生活に根差した問題を解かせたり、予想させたり、具体物を操作させたりする活動を仕組む。
- ・情報を整理して必要な条件のみを選び、論理的に説明する力を養う。そのために、日常的に考えを言語化し、対話を通して、不足している情報はどんなことかに気づいたり、修正したりする活動を仕組む。

理 科	教科全体正答率		○	○
	領域別正答率	エネルギー	○	○
		粒子	◎	◎
		生命	○	○
		地球	◎	○

【理科の分析結果と改善のポイント】

- ・昆虫が何を食べるのか、どんな育ち方をするか経験や調べ学習から理解を深めさせる。
- ・水溶液の凍った温度を調べ、正しい結果を押し、その結果からいえることを正しく選び、その組み合わせを答えることができるようにする。
- ・単元末の「たしかめよう」「学んだことを生かそう」における記述式回答を要求する問題を必ず行い、記述をするときのポイントを教師が示し、何を書けばいいかやどのように書くかを指導して繰り返し練習させる。
- ・結果についての分析の視点を示し、分析の記述をする問題を繰り返し行う。

【児童質問紙より(分析結果と改善策)】

- ・基本的な生活習慣等について、携帯やスマートフォンの使い過ぎ、家庭でのルールが守られていないことが課題になっている。家庭と連携して、毎月メディアルールを考えさせたり、振り返りを行ったりする。(メディアチェックの実施)
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取り組みについて、約半数の児童が発表していなかったと答えている。自信をもって発表できるようにペア→グループ→全体発表などスモールステップを踏んで発表にチャレンジさせるとともに、発表したくなる発問、学習活動の工夫などに力を入れる。ペア発表も発表の回数に含むなど、子どもたちが達成感を感じる授業スタイルを考えたい。